

PAF導入で進化する ステラリス Elite*

※PAF: Posterior Adaptive Fluidics™

監修・
野口 三太郎先生

朝生 浩先生
(経堂あそう眼科)



野口 三太郎先生

日本では2009年に白内障手術装置「ステラリス」が、2012年に白内障と網膜硝子体手術両方に適用できる「ステラリス PC」が発売されました。2018年からは世代モデルを引き継いだ「ステラリス Elite」*として、術中の吸引圧に連動し灌流圧を自動的に加圧・減圧するプログラム(Adaptive Fluidics™)を備え、6ビエゾガラスのハンドピースによる核破砕力と共に前房安定性を高めるべく進化を遂げて参りました。外観を大きく変えることなく3代に渡ってアップデートを続けたステラリス*は、中身の進化を重視し、静かに着実に完成度を高めております。これまで静かに熟成を重ねてきたステラリス*ですが、白内障・硝子体手術に求められる本質的な性能とは何かを今一度考えてみていただければと思います。

*販売名:ステラリス 医療機器承認番号:221008ZKK00785000

硝子体手術器械に求められる性能

- ・ 安定した灌流・吸引のバランス
- ・ 硝子体カッターの性能
- ・ Forceps、照明等の性能



硝子体手術装置の 求められる性能とは?

白内障硝子体同時手術装置に求められる性能ですが最も大事なものは、灌流と吸引のバランスが良く安定した手術が可能であることです。

次に硝子体カッターの性能が挙げられます。これは回転数や切除効率を指します。

そしてForcepsや照明などの性能も手術のやりやすさに影響を及ぼすと考えます。

PAF: Posterior Adaptive Fluidics

Surgeon control with Adaptive Fluidics™

What is Adaptive Fluidics for posterior?

- アップデートされたソフトウェアが吸引圧をモニターします。
- 吸引圧の変動に対し、灌流圧の調整を行います。
- 後房部手術時も、IOPの変動を軽減するように設計されています。

Why Upgrade your system?

受け身ではなく、「積極的」にIOPの維持に「介入」を行います。
フットペダルと吸引・灌流のラインが連動し、術者のパートナーとなって、
IOPの変動を軽減することに寄与します。



Posterior Adaptive Fluidics™とは?

PAFとはPosterior Adaptive Fluidics™の略です。
吸引圧をモニターしており、吸引圧に応じて灌流量を変化させる機能です。

元々白内障手術においてはすでに導入されたシステムですが、後房部にもIOPの安定したコントロールを目的とし、導入されました。(既存機器のバージョンアップ可能)



ステラリスを使ったことがない先生方は新しいイメージを持っているのかもしれないが、使ってみると私にはそのような感覚はありませんでした。